

参加者ガイド：自己決定プログラム（SDP）参加者へのサービス提供に関する請求要件

支払い要件

このガイドは、サービスプロバイダーがどのように請求を行い、支払いを受けるかを理解するのに役立ちます。参加者は以下の方法でサービスプロバイダーを選択することができます。

- 人員を雇用する。
- 地域センターの委託先を利用する。
- 地元の企業や地域のリソースを利用する。
- SDPプロバイダーを利用する。

各種プロバイダーへの支払いはどのように行われるか

1. 介助者を雇った場合。例えば、身の回りの世話をする人員などです。この人物がタイムシートに記入し、財務管理サービス（FMS）から支払いを受けます。
2. SDPプロバイダーのサービスの場合。例：
 - 治療を提供する地域機関
 - 独立ファシリテーター（IF）
 - 地域センターの委託先でないデイプログラム

SDPプロバイダーは、タイムシートに記入せず、FMSに請求書を発行します。請求書には以下の記載が必要です。

- SDPプロバイダーの[サービスコード](#)。サービスコードは支出計画に記載されています。
- SDPプロバイダーの料金。1時間単位または1日単位とします。
- サービスの内容
- サービス提供日
- サービス提供に要した時間
- サービスの費用
- サービスを受けたという表明

請求書のサンプルが添付されています。これをSDPプロバイダーにお渡しください。これを使用することで、適切な請求書が発行されるようになります。

3. 地域センターの委託先によるサービスの場合。地域センターの委託先は、従来のサービスを利用した場合と同じ料金や情報の記載された請求書を提出することができます。
4. 地元企業または地域リソースからのサービスの場合。このタイプのプロバイダーは、障がいのある人もない人も対象にしています。例：
 - 地域の空手教室

- UberまたはLyft
- FMSが商品を購入する店舗または地域リソース

参加者がFMSプロバイダーの支援の下、サービス内容と費用を記載した書面を提出します。

その他の注意事項

- サービスプロバイダーへの支払いはFMSが行います。
- サービスプロバイダーは参加者の依頼で商品を購入することはできません。FMSが支出計画に含まれる必要な商品を購入します。

SDPサービスの提供に関する連邦および州の要件

SDPを通じて受けられるサービスは、州および連邦政府の予算で賄われます。地域センターから支払いを受けるには、これらのサービスは規則に従う必要があります。

この要件には以下が含まれます。

- 提供されるサービスは、参加者と個々のプログラム計画チームによって合意されたものであること
- 支払いは、参加者が受けたサービスを反映したものであること
- サービスプロバイダーは、参加者に提供したサービスの記録を保管すること
- サービスは参加者に公平に提供され、人種、宗教、肌の色、国籍、民族、性別、年齢、障がいによって拒否されないこと